

きたすま

あなたの神である主を愛しなさい。
隣人を自分のように愛しなさい。(マタイ 22・37)

No. 244(11月号)

2023年10月29日発行
発行 カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1
発行人 高橋 聡
編集 広報委員会

問題解決の手法

グイノ・ジェラルド神父

偉大な禅師のチオアン先生は、僧院に来た若い弟子たちの指導を担当していました。その中には、スーシという名前の弟子が、他の弟子たちを笑わせるために若いフォイン君をよくからかっていました。ある日、チオアン先生は「フォイン君、あそこで瞑想しているスーシ君を見て、彼は誰に似ていると思いますか」と尋ねました。フォインはすぐに「そうですね、スーシ君は仏像に似ていると思います」と答えました。暫くしてから今度は、チオアン先生はスーシ君に「あそこで瞑想しているフォイン君を見て、彼は誰に似ていると思いますか」と尋ねると、スーシは即座に「あのよう

に座っているフォイン君を見て、僕は牛の大きな糞を思い出します」と答えました。もちろん、彼の冗談を聞いた他の弟子たちはクスクスと笑いました。チオアン先生はスーシの突拍子もない答えを聞いて思わず皆に言いました。「スーシはこれほど識別力が乏しい状態で、いったいどうやって瞑想できるのだろうか。瞑想が目標にしていることは、私たちの心の中にあるものと私たちの周りのものをハッキリと識別して理解することだと言うのに…。人は自分の心の中にあるものが、目の前に現れるのです。フォインはス

ーシが仏陀に似ていると言ったので、それは彼の心の中に仏陀が存在していることを示しているのです。しかし、スーシが言ったように、もしフォインの内に牛の糞を見るなら、スーシの心の中にはいったい何があるか想像出来ますか?」。これを聞いて、若い弟子たちは皆大笑いをしました。スーシはとても恥ずかしくなり顔が真っ赤になりました。チオアン先生はスーシに罰として彼が反省するように一週間、僧院のトイレの掃除をするように命令しました。

チオアン先生が数日間欠勤しなければならなくなったある日のこと、自分の代わりを務める人を選ぶために弟子たちを集めました。「私は今からあなたたちに問題を提示します。この問題を最初に解決した人に、私が不在中に私の代わりの役目を担ってもらいます。」そう言って先生は丸い机を部屋の中央に移動させました。そして、その上に1本の綺麗な赤いバラと珍しいデザインの磁器の巨大な花瓶を置きました。「さて、これが問題です。さあ、どうしますか?」と



先生は弟子たちに質問しました。弟子たちは、自分たちが今見ている物に当惑しているようでした。巨大な磁器の花瓶と1本の赤いバラの花の新鮮な優雅さ…それらは何を表しているのでしょうか。自分たちは何をすべきなのでしょう…、この問題は何でしょうか…、先生は何を求めているのでしょうか…、弟子たちは色々な考えが走馬灯のように頭に浮かび、あてもない、こうでもないと迷っている間にゆき詰まり茫然として暫くの間、机の上に置かれた花と花瓶を見て固まっていました。しかし数分後、弟子の中で一番若いフォイン君が決然と立ち上がって机の上に置かれた花瓶を重そうに持ち上げてそっと床に置きました。するとチオアン先生は、待っていたかのように口を開きました。「はい、フォイン君、あなたが私の代わりに努めてください。この問題の目指すところは、対象物がどんなに魅力的で珍しく貴重な物であっても、見た目に惑わされることなく問題自体を解決する必要があります。あなたがこの問題の花瓶を床に置いて移動させた時に、この問題の目指すところを見抜きました。そうです、この問題を見抜くという賢明な行動をとったので、私の代わりとしてとても相応しいです」とチオアン先生は嬉しそうに言いました。

ところが、フォインはこの責任ある先生の代わりに務める役目を断りました。「先生、この僧院には昔から占いのために使う亀の背甲（殻）が保存されていますよね。教えてくださいませんか。もし亀に2つの

うちのどちらかを選択する権利を与えたとしたら、①この亀は人々の占いのために死ぬことを好んで選んだのでしょうか。あるいは、②沼地の泥の中で尻尾を引きずって生きることを好んで選んだのでしょうか?」。「フォイン君、勿論、②の生きることを選んだでしょう」と、先生は答えました。「ですから、先生、僕も先生がお留守の間の重い責任のかかる役目よりも、他の弟子たちと同じように勉強することを選びたいです」と、フォインは答えました。この弟子の賢明さに益々感動したチオアン先生は彼の願いに同意して、年寄の弟子に留守番の責任を与えました。

私たちが解決すべき問題に出会うとき、私たちはそれに直面する代わりに、多くの場合恐怖から解決を先延ばしにしています。問題を解決する時の危険は、問題を熟考し過ぎてゆき詰まってしまうことになることです。未解決の問題の重みは、問題解決のために選んだ結果の善し悪しよりも大きいという事実を私たちは忘れてはいけません。難問題の攻撃を受ける時には、まず神の前で静かに黙想して、聖霊の賢明さの光と解決のカギを願うことが第一の解決策です。「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとを守るでしょう。」(参照：フィリピ4,6)。

(寄稿) カミノ・デ・サンティアゴ
 ～ 巡礼の旅 (第4回) ～
 オ・ソングン
 (Br.オー)

道で会った天使

サンティアゴの巡礼路を歩いていると、世界各地から来た多くの人々に出会う。巡礼者たちは会うたびに互いに親しげに軽く「Buen Camino、良い旅路を！」と挨拶してすれ違うこともあれば、時にはしばらくの間、道連れになり一緒に歩くこともある。そんな巡礼者の中には、いつまでも感謝の気持ちが記憶に残る、まるで天使のような人がいる。

ブラジルから来たマルコと出会ったのは、巡礼路の最初の大都市パンプローナに向かう途中だった。横断歩道で信号を待っていると、背の高い巡礼者が近づいてきた。彼がマルコだった。私たちは挨拶を交わし、一緒にパンプローナに到着し、軽く別れを告げ、それぞれのアルベルゲ（巡礼者用の宿泊施設）に向かった。



Albergue

それから二日目の朝、彼と偶然再会した。足の裏が痛くて道端に座って足をマッサージしていると、彼が声をかけてきた。



彼も片足を引きずっていた。膝が痛いと言った。私は持っていた薬を取り出し、彼の膝と足に塗ってあげた。すると、彼が自分のバックパックから足の裏マッサージボールを取り出してくれた。彼も必要かもしれないので、私はやんわりと断った。しかし、彼は譲らなかった。2～3日後、また会ったら返すつもりでそのマッサージボールを受け取った。しかし、巡礼が終わるまで彼とは会えなかった。マッサージボールを使うたびに、マルコの消息が気になった。そして惜しげもなく自分に一つしかないものを私にくれた彼は知るよしもないだろう、彼のシンプルな行動が私の人生にどれほど大きな影響を与えたか。



Marco

数日後、一人の巡礼者が消炎剤を必要としていた。私は持っていた消炎剤をすべて渡した。彼女に「あなたも必要なんじゃないの?」と言われたとき、私は「今、あなたが消炎剤が必要だから、これはあなたのものだ。私はちょっと取っておいただけだよ」と答えた。

マルコは私に惜しみなく与えることを教えてくれた天使だった。今でも私の机の上には、彼からもらったマッサージボールがある。それを見るたびにマルコのために祈り、感謝の気持ちを伝えている。

(つづく)



2023年11月 典礼奉仕者表

月日 主日	司式者	先唱者	地区	聖書朗読	地区	聖体奉仕
11/5(日)10時 年間第31主日	Fr. 高橋	NS	4	①IM ②OT	7 6A	—
11/12(日)10時 年間第32主日	Fr. 中川	UT	6A	①NS ②SM	1 5	NY HT
11/19(日)10時 年間第33主日	Fr. 高橋	TA	6A	①MS ②T	2 5	—
11/26(日)10時 年間第34主日	Fr. 中川	HK	6A	①OM ②TM	3 6A	NS YK

評議会より

今の評議会の構成はそれに関与できる信者が多かった時代のものに思えます。どのようにすれば良いかを考えて行こうとしています。

課題になっています「階段」「御聖堂椅子」「スピーカ音量」を解決しようとしています。1階に小聖堂を作りミサを中継することができないか、具体策を練っていきます。

青少年委員会より

11月19日のミサで七五三のお祝いをします。お子様にはお菓子を用意しています。神父様の祝福があります。

お知らせ

☆古着寄贈のお願い☆

衣替えの季節になりました。ご家庭で不要になられた衣類、カバン、タオル（新品）他で、男女を問わず、お洗濯をされている物でありましたら、1階ホール柱横の箱に11月末までに入れてください。なお、寄贈戴いた古着等はチャリティショップ・フリーヘルプで活用させていただきます。よろしくお願い致します。（問い合わせはうさんまで）

☆転出されました☆

第5地区から神戸中央教会へ

クララ SA さま
 フランシスコ SH さま
 アンセルモ SM さま
 テレジア SC さま
 パウロ SI さま
 ミカエル SK さま

どうぞお元気で！

☆転入されました☆

たかとり教会から第6B地区へ

ペトロニラ Y さま

ようこそ北須磨へ！

☆帰天されました☆

第5地区

ペトロ TS さま

永遠の安息とご家族の心の平安をお祈りします。

編集後記

ロシアとウクライナの戦争の終結が見えない中、今度は中東でイスラエルとハマスの戦闘がおきました。今は大規模な戦争につながらないことを祈るのみです。パレスチナの紛争は数十年の敵対関係の積み重ねがありますが、それでも、イスラエルとアラブ諸国との関係改善の努力は続いてきました。そういった努力も一発の銃弾でもろくも壊されてしまうことに、パレスチナ問題の難しさを感じます。

(GTH)

マンスリースケジュール11月

2023



日・曜日	
11/1 水	
2 木	
3 金	主日の聖書を読む会(14:00～)
4 土	ロザリオの祈り(14:00～)
5 日	年間第31主日 ミサ10:00～ ラウダート・シ サークル (ミサ後) 共同墓参(舞子)14:00～
6 月	
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	主日の聖書を読む会(14:00～)
11 土	ロザリオの祈り(14:00～)
12 日	年間第32主日 ミサ10:00～ 中川神父講話(ミサ後)
13 月	
14 火	社会活動センター炊き出し(9:30) ミサ(10:30～) みことばを味わう集い(～12:00)
15 水	
16 木	
17 金	主日の聖書を読む会(14:00～)
18 土	ロザリオの祈り(14:00～)
19 日	年間第33主日 ミサ(七五三のお祝い)10:00～ 教会清掃:第2・5地区・地区の集い(ミサ後) 典礼委員会(ミサ後)
20 月	
21 火	
22 水	
23 木	
24 金	主日の聖書を読む会(14:00～)
25 土	広報委員会(10:00～) ロザリオの祈り(14:00～)
26 日	王であるキリスト ミサ10:00～ 中川神父講話(ミサ後)
27 月	
28 火	ミサ(10:30～) みことばを味わう集い(～12:00)
29 水	
30 木	
12/1 金	主日の聖書を読む会(14:00～)
2 土	ロザリオの祈り(14:00～)
3 日	待降節第1主日 ミサ10:00～

◇『聖書と典礼』は聖堂後ろに置いてあります。新しいミサ式文の冊子はお持ちください。

緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。
また、ゆるしの秘跡、病者の塗油、ご聖体をご希望の方も、いつでもご連絡ください。



カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>